

第10回大阪大学COIシンポジウム

乳幼児からの健やかな脳の育成による 「積極的自立社会」の実現

本拠点は、人間力活性化を主テーマに、ニューノーマル時代においても、一人ひとりが潜在力を発揮、自ら課題を克服する、積極的自立社会の実現を目指しています。これまで、最も重要な幼年期の健やかな脳の発達に注力したユースケースの具現化とともに、幼年期以降の心身の発達を支援する医工連携ヘルステックの社会実装を推進して参りました。この度、長きにわたるご支援に深く感謝いたしますとともに、研究成果の集大成をご覧頂きたく、最終のシンポジウムを企画させていただきました。同時に、隣接のWearable EXPO2022(1/19-21)にも出展しておりますので、併せてご参加いただければ幸いです。

令和4年

1/21 (金) 12:30-17:00 (開場12:00)

場所：パナソニックセンター東京

東京開催・
オンライン同時配信

12:30-12:35 主催者挨拶 金田 安史 (大阪大学統括理事・副学長)

12:35-13:10 基調講演 **社会課題とイノベーション**
小池 聡 氏 (ベジタリア(株)代表取締役社長/COI STREAM ビジョン2 ビジヨナリーリーダー)

13:10-13:40 特別講演 **住みよい街のためにデジタル化をすすめる加賀市 -子どもたちの健やかな育成のために-**
宮元 陸 氏 (石川県加賀市市長)

13:40-13:50 全体概要 **大阪大学COIの目指す姿**
上野山 雄 プロジェクトリーダー (パナソニック(株) 客員)

14:00-16:00 研究開発成果ご紹介

【子どもの健やかな脳の発達】

- ①「よく眠り、よく育つ」子育てを支える双方向性アプリ開発：谷池 雅子 教授 (大阪大学)
- ②自閉症児の自立・社会性向上：菊知 充 教授 (金沢大学)
- ③子供の教育環境の改善・コミュニケーション向上：中島 寿宏 准教授 (北海道教育大学)

【次世代ヘルステック】

- ④[オンライン]シート型生体センサシステムの研究開発と社会実装：関谷 毅 教授 (大阪大学)
- ⑤Si製剤による酸化ストレス性疾病の予防と治療：小林 光 教授 (大阪大学)
- ⑥ヘルペスウイルス等の検出ナノポアデバイス：谷口 正輝 教授 (大阪大学)
- ⑦低出生体重児への睡眠介入プログラム：吉村 優子 准教授 (金沢大学)
- ⑧腸内フローラ判定トイレと改善アプリ：山崎 聖司 准教授 (大阪大学)
- ⑨下水疫学とメタゲノム解析を融合した革新的ウイルス感染症検知システム：元岡 大祐 助教 (大阪大学)

16:00-17:00 ポスターセッション・名刺交換

17:00 閉会

申込方法：以下のwebサイトよりお申込み下さい：<https://www.coistream.osaka-u.ac.jp/symposium/symposium2021>

申込締切：令和4年 1月14日(金) 17:00 ※定員に達し次第受付終了

お問合せ：大阪大学 センター・オブ・イノベーション(COI)研究推進機構

(Tel:06-6879-4988/email:coi-kouhou@coistream.osaka-u.ac.jp)

